

17. 4 シリーズ7 タイプ(a)試験規定

17. 4. 1 試験7(a): EIDS雷管試験

17. 4. 1. 1 はじめに

この衝撃試験は激しい機械的刺激に対するEIDS候補の感度を判定するために行う。

17. 4. 1. 2 装置および材料

この試験の実験装置は、試験 5(a)と同様である。(15. 4. 1参照)

15. 4. 1. 3 手順

実験手順は、試験 5(a)と同様である。(15. 4. 1参照)

15. 4. 1. 4 試験判定基準および結果査定方法

いずれかの試験で以下の場合には、結果は“+”とみなされ、その物質はEIDSには分類されない。

- a. 証拠板が裂けるかあるいは貫通する(つまり板を通して光が見える)－
証拠板の膨れ、亀裂または折れ曲がりには雷管感度を示すものではない。
- b. 鉛円筒の中央が最初の長さ比べて 3.2 mm 以上圧縮される。

それ以外は、結果は“－”とみなされる。

17. 4. 1. 5 試験結果例

物質	結果
HMX/不活性バインダー(86/14)、溶填	－
HMX/活性バインダー(80/20)、溶填	＋
HMX/アルミニウム/活性バインダー(51/19/14)、溶填	－

RDX/TNT(60/40)、溶填	+
TATB/Kel-F(95/5)、压填	-